

合成桁の設計例と解説(平成30年2月) 正誤表

頁	誤	正						
2	(上から11行目) ⑩設計震度: $Kh_1=0.20$ (レベル1地震動) $Kh_2=0.60$ (レベル2地震動)	⑩設計震度: $Kh_1 = 0.20$ (レベル1地震動) $Kh_2 = 1.31$ (レベル2地震動, タイプⅡ, 橋軸直角方向) ただし, レベル2地震動による地震の影響については, 道示Ⅴ編 13.1.1(3)の解説より, 橋台に設置される支承部に作用する水平力相当とし, 設計水平震度の0.45倍から算出される慣性力とする ($1.31 \times 0.45 = 0.60$) .						
4	(下から3行目) 第1位を四捨五入して220mmとする。	第1位を切り上げて220mmとする。						
5	(上から6行目) 第1位を四捨五入して220mmとする。	第1位を切り上げて220mmとする。						
79	(下から10行目) $\sigma_{cud} = 311 \text{ N/mm}^2$	$\sigma_{cud} = 271 \text{ N/mm}^2$						
85	(上から10行目) ボルト1本あたりに生じる力 【道示Ⅱ式(9.9.3)】 $V_{sd} = 970.1 \times 10^6 / 11,176,248 \times 889 = 77,165 \text{ N}$ $\leq (y_i/y_n) \cdot V_{fud} = (889 / 999) \times 158,166 = 140,750 \text{ N}$	ボルト1本あたりに生じる力 【道示Ⅱ式(9.9.3)】 $V_{sd} = 970.1 \times 10^6 / 11,176,248 \times 889 = 77,165 \text{ N}$ $\leq (y_i/y_n) \cdot V_{fud} = (889 / 1,021) \times 158,166 = 137,718 \text{ N}$						
145	3) 縁端距離の照査 a) はし抜け破壊に対するせん断力の制限値 $V_{sd} = \xi_1 \cdot \xi_2 \cdot \Phi_{fb} \cdot \tau_{yk} \cdot 2et$ 【道示Ⅱ式(9.5.3)】 <table border="1" data-bbox="421 906 954 959"> <tr> <td>調査・解析係数 ξ_1</td> <td>部材・構造係数 ξ_2</td> <td>抵抗係数 Φ_{fb}</td> </tr> <tr> <td>1.00</td> <td>1.00</td> <td>1.00</td> </tr> </table> 最小縁端距離 $e = 40 \text{ mm}$ 接合部の薄い方の板厚 $t = 9 \text{ mm}$ $V_{sd} = 1.00 \times 1.00 \times 1.00 \times 135 \times 2 \times 40 \times 9 = 97,200 \text{ N}$ b) はし抜け破壊に対するせん断力の照査 $V_{sd} = 40,378 \text{ N} \leq V_{sd} = 97,200 \text{ N}$ 【道示Ⅱ式(9.5.2)】	調査・解析係数 ξ_1	部材・構造係数 ξ_2	抵抗係数 Φ_{fb}	1.00	1.00	1.00	3) 縁端距離の照査 応力作用方向のボルト列数が2列のため、照査は不要である。
調査・解析係数 ξ_1	部材・構造係数 ξ_2	抵抗係数 Φ_{fb}						
1.00	1.00	1.00						

合成桁の設計例と解説(平成30年2月) 正誤表

頁	誤	正
146	<p>(下から2行目)</p> <p>2) 照査結果</p> <p>8.2.3より、最大断面力を用いて照査する。</p> $\sigma_c \leq \sigma_{ca2} \cdot \left(0.5 + \frac{d/r_x}{1,000} \right) \quad \text{【道示Ⅱ式(5.4.38)】}$ $\sigma_c = \frac{N}{A_g} = \frac{0.0 \times 10^3}{19.39 \times 10^2} = 0 \text{ N/mm}^2$	<p>2) 照査結果</p> <p>8.2.3より、最大断面力を用いて照査する。</p> $\sigma_c \leq \sigma_{ca2} \cdot \left(0.5 + \frac{d/r_x}{1,000} \right) \quad \text{【道示Ⅱ式(5.4.38)】}$ $\sigma_c = \frac{N}{A_g} = \frac{32.3 \times 10^3}{19.39 \times 10^2} = 17 \text{ N/mm}^2$